日本倶楽部会報

平成 27 年 4 月 第 4 号

～ 新 年 賀 詞 交 歓 会 開 催 さ れ る ～

新年賀詞交歓会の様子

倶楽部の活性化を目指して

会員委員長　妹尾正毅

日本倶楽部の当面の課題「倶楽部の活性化」の為に新たに出来ることは何か。我々の担当する「会員に関すること」では「会員間の交流」の促進に役立つこと、そこで思いついたのが新年賀詞交歓会の試みと毎月の午餐会をより魅力的なものにすることである。

新年会は 1 月中旬の日取りも良かったか、大成功、参加者は 100 名をかなり超えて大会議室が満員状態、日本酒、ウイスキー等に加え気の利いたつまみも次々に運び込まれ、話が弾んだ。そして、もっとこう云う交流会があって欲しい、会員展・小唄会の機会、総会の後、更には年末も等の意見が表明された。出来る限りこれらの期待に応えられればと思う。

午餐会は毎月 15 日に喜寿等の会員と新入会員を来賓として開催されているが近年参加者の減少が目立っていた。よって儀式的と云うよりも懇親の場ということに重点を置き、室内何箇所かでテーブルを囲む形に改めて頂いた。結果は最初の試みたる 2 月は従来より出席者が大幅に増えたとの印象だったが、3 月は従来並みの小人数に止まってしまった。

理由は判らないが従来よりも旧友との交流や新しい友人作りに向いた形になった事は間違いない。卓話の仕組み等更に工夫の余地があるかも知れないが、役員も、その他の会員も、更には新入会員も、もっと積極的に参加、出席してみてはどうかと思う。

賀詞交歓会における新入会員のご紹介